

東アジアの現在

～中国を理解するために～

古来より広大な領土を保持し悠久の歴史を刻んできた中国。アジア最大の経済大国となり、世界における役割の重要性も増している中国。知っているようで、なおわかりにくい中国。そんな中国を東アジアの中において見直してみようと思います。

- 日 時：平成 25 年 6 月 12 日，19 日，26 日，7 月 3 日
水曜日 18:20～19:50

- 会 場：県立広島大学広島キャンパス（広島市南区宇品東 1-1-71）

- 内 容：

6 月 12 日	現代中国映画の伝えるものとは？	人間文化学部国際文化学科教授 丸山 浩明
6 月 19 日	農村から都市への出稼ぎ労働者の子ども	人間文化学部国際文化学科准教授 植村 広美
6 月 26 日	アジアの海域交流史と華僑・華人社会の展開	人間文化学部国際文化学科准教授 岡本 弘道
7 月 3 日	新語から見る中国	人間文化学部国際文化学科教授 侯 仁鋒

- 定 員：50 名

- 対 象：どなたでも

- 受 講 料：無料

- 申込方法：往復はがきで、往信面の裏に①郵便番号、②住所、③名前（ふりがな）、④電話番号を、返信面の表に受講される方の郵便番号、住所、名前（〇〇様）をご記入の上、平成 25 年 5 月 28 日（火）までに次のところお送りください。

〒734-8558 広島市南区宇品東 1 丁目 1-71

県立広島大学地域連携センター「東アジア講座」係

受講案内は申込締切日以降にお届けします。

※申込にあたってお寄せいただいた個人情報は、県立広島大学公開講座のご案内以外の目的には使用しません。

- 主催・問合せ先：

県立広島大学地域連携センター

TEL 082-251-9534（平日 9:00～12:00／13:00～18:00）

《 講 座 内 容 》

第 1 回 現代中国映画の伝えるものは？

丸 山 浩 明

中国国内では厳しい目に晒される映画が、国際的な賞を取り、世界の人々に歴史や現実を訴える場合がよくあります。近年注目された映画を題材として、映像が伝える特徴を考えてみましょう。

第 2 回 農村から都市への出稼ぎ労働者の子ども

植 村 広 美

近年、中国の都市部では急速な経済発展を遂げていますが、その発展を陰で支えているのが農村から都市への出稼ぎ労働者たちです。その数は 2012 年現在、1 億 5000 万人を超すともいわれており、学齢期にある子どもを伴い家族単位で都市に流入しています。今回は、そうした学齢期にある子どもの教育事情について、北京の出稼ぎ労働者の子どものための学校における教員経験から得られた知見を交えてお話ししたいと思います。

第 3 回 アジア海域交流史と華僑・華人社会の展開

岡 本 弘 道

現在中国国外に住む華僑・華人の人口は数千万人に及ぶと言われており、世界各地にチャイナタウンや華人社会が広がっています。その根源と現在に至るまでの歴史を、一千年以上にわたり東アジアから東南アジアの海域を往来していた華僑・華人たちの活動を通じて考えてみましょう。

第 4 回 新語から見る中国

侯 仁 鋒

言葉は社会の鏡です。長い歴史と伝統を持つ中国ですが、近年、急速な変化を遂げ、それを反映する新しい言葉が日々生まれています。中には現代中国を理解するのに必要不可欠なキーワードもあります。このような新語・流行語の中国語での表現をご紹介します。これにより中国へのイメージが少しでも変わればと願っています。